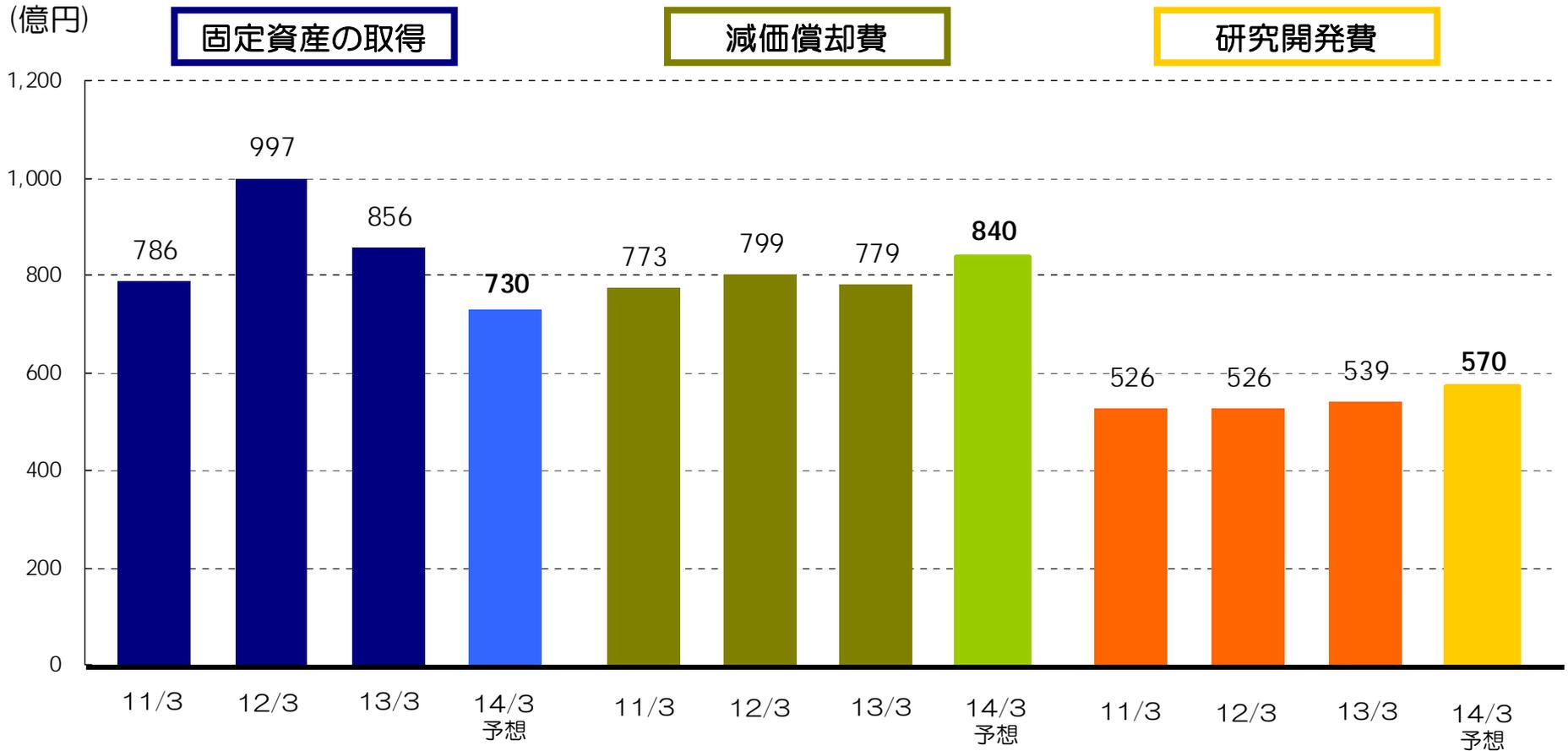


補足資料

期初公表値（4月26日）から変更なし



売上高及び営業利益の四半期推移



		2013年3月期					2014年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	(億円)										
	コンデンサ	314	292	266	307	1,180	337	351			
	インダクティブデバイス	282	296	306	312	1,196	350	355			
	その他受動部品	318	317	360	425	1,421	483	488			
	受動部品合計	915	906	931	1,044	3,796	1,170	1,194			
	記録デバイス	599	558	602	576	2,335	602	663			
	その他磁気応用製品	283	276	240	245	1,044	260	266			
	磁気応用製品	882	834	842	821	3,379	862	929			
	フィルム応用製品	216	258	309	269	1,052	270	331			
	その他	58	52	50	54	214	47	44			
合計	2,070	2,050	2,133	2,188	8,441	2,349	2,498				
営業利益	受動部品	△ 29	△ 25	△ 18	△ 39	△ 111	28	62			
	磁気応用製品	146	132	75	18	371	46	78			
	フィルム応用製品	21	50	36	18	125	20	32			
	その他	△ 4	△ 5	△ 6	△ 3	△ 18	△ 8	△ 8			
	小計	133	152	88	△ 6	367	86	164			
	全社および消去	△ 42	△ 41	△ 37	△ 30	△ 150	△ 42	△ 40			
合計	92	111	50	△ 36	217	44	124				
為替	対ドルレート	80.27	78.67	81.17	92.20	83.03	98.74	99.02			
	対ユーロレート	103.18	98.28	105.28	121.74	107.05	128.96	131.11			

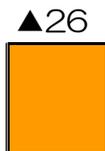
※非継続事業（データテープ事業）除外後の実績値

上期営業利益増減分析

(単位：億円)

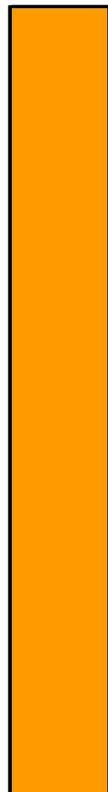
営業利益 ▲35億円

売上による
利益変動



売価値引き

▲181



為替変動
(US\$=Yen 98.88)
+130



シェアース
価格変動

▲16



合理化
コストダウン

+69



構造改革効果

+42



販売費及び
一般管理費減
(構造改革費用の
減少11億円を含む)
+1



タイ洪水
保険金
▲54

168



2013年3月期
上半期

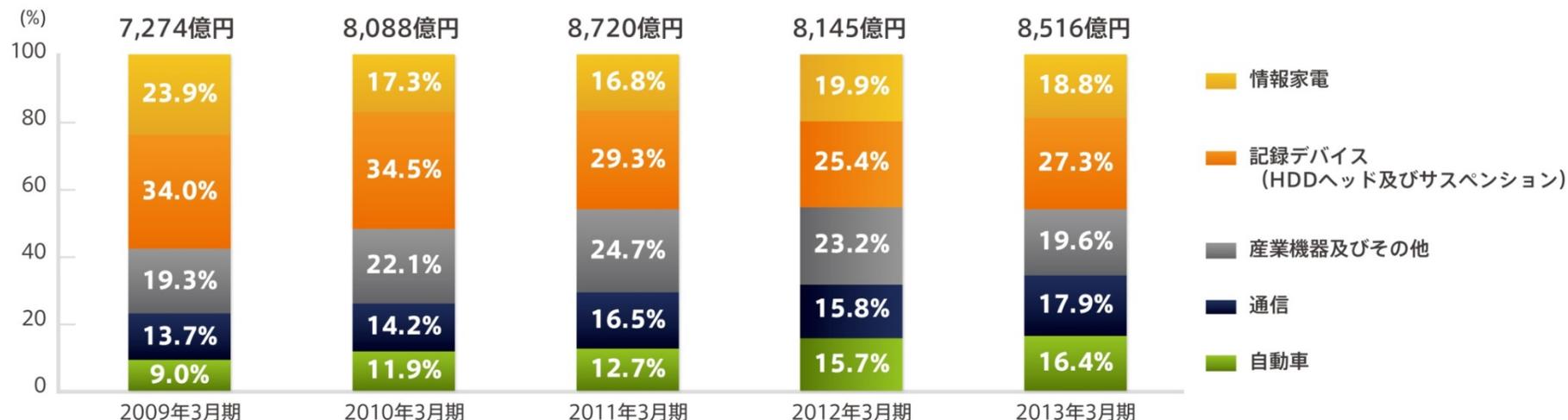
2014年3月期
上半期

※非継続事業（データテープ事業）除外後の実績値

連結キャッシュフロー計算書

(億円)	2013年3月期 第2四半期累計実績	2014年3月期 第2四半期累計実績	前年同期からの変化
営業活動による キャッシュフロー	437	573	136億円増加 <主な増加要因> 仕入債務の増加：72億円 減価償却費の増加：51億円 たな卸資産の減少：31億円 <主な減少要因> 非支配持分控除前純利益の減少：45億円
投資活動による キャッシュフロー	△ 503	△ 230	273億円減少 <主な増加要因> ・短期投資の取得の増加：33億円 <主な減少要因> ・固定資産の取得の減少：147億円 ・短期投資の売却及び償還の増加：94億円
フリーキャッシュフロー (FCF)	△ 66	343	409億円増加
財務活動による キャッシュフロー	68	△ 214	282億円減少 <主な増加要因> ・長期借入債務の返済額の減少：303億円 <主な減少要因> ・短期借入債務の減少：390億円 ・非支配持分の取得：140億円 ・長期借入債務による調達額の減少：63億円
為替変動による影響額	△ 92	88	180億円の増加要因
現金同等物残高	1,579	2,354	775億円増加

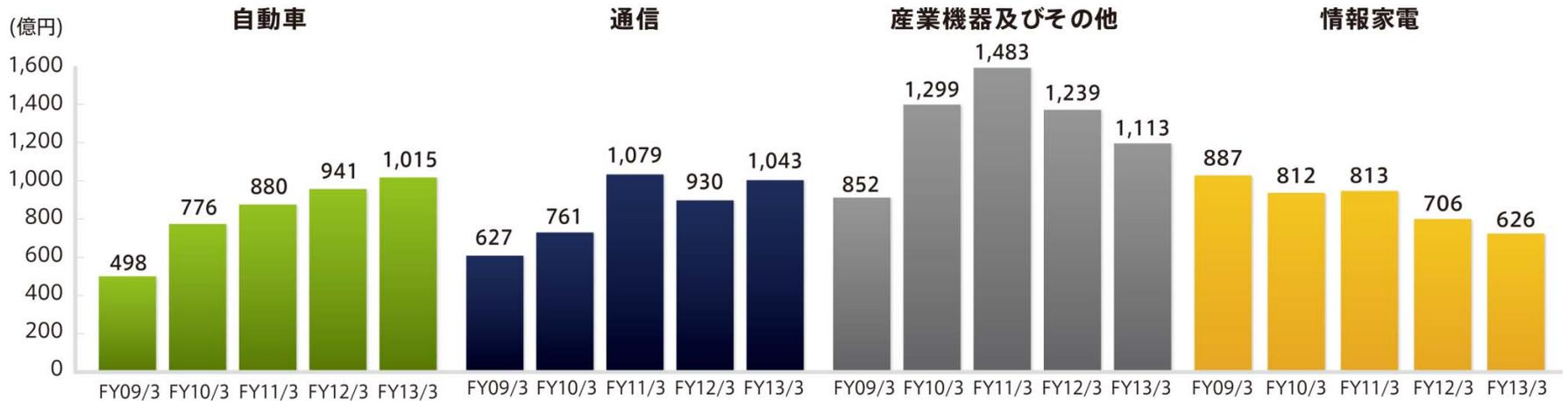
全社 分野別通期売上高推移 (2009年3月期～2013年3月期)



※ 2009年3月期の下期よりエプコス連結

※ 2009/3～2010/3までは非継続事業(ディスプレイ事業)を含む実績、2011/3以降は非継続事業(ディスプレイ事業)除外後の実績値

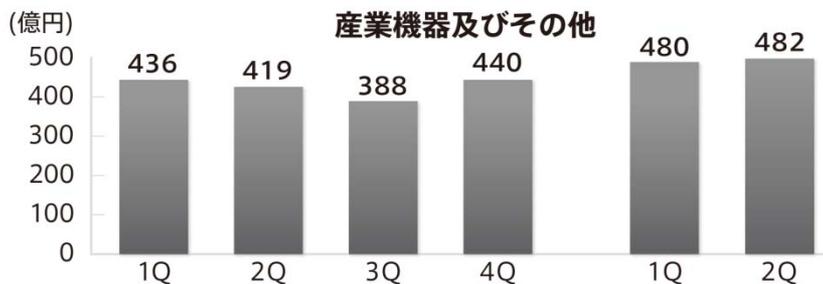
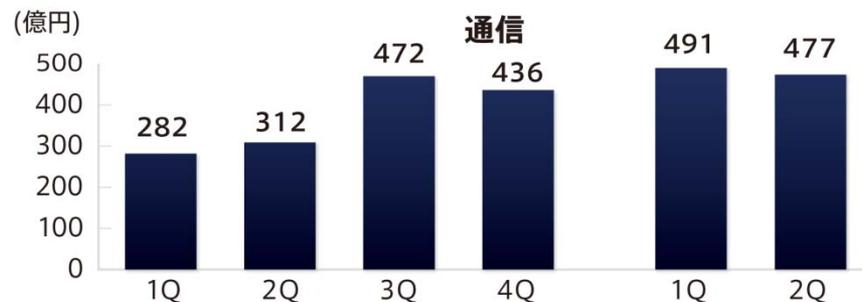
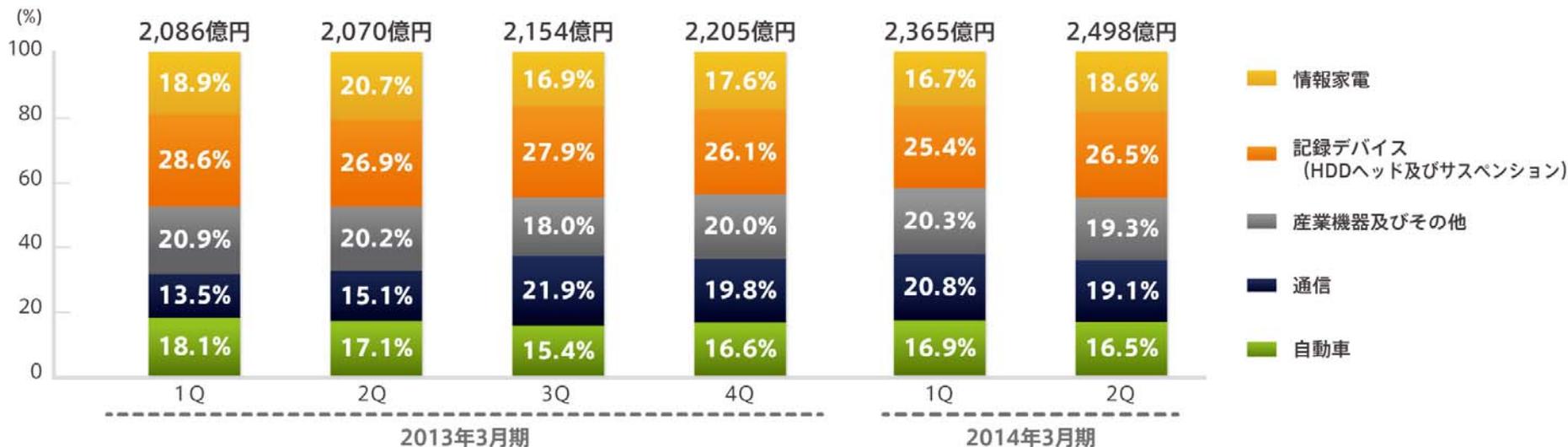
受動部品 分野別通期売上高推移 (2009年3月期～2013年3月期)



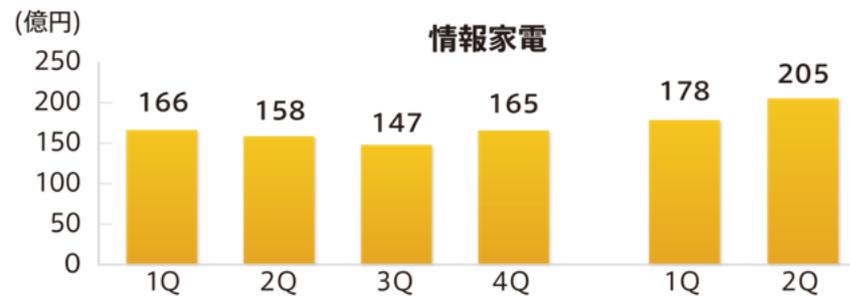
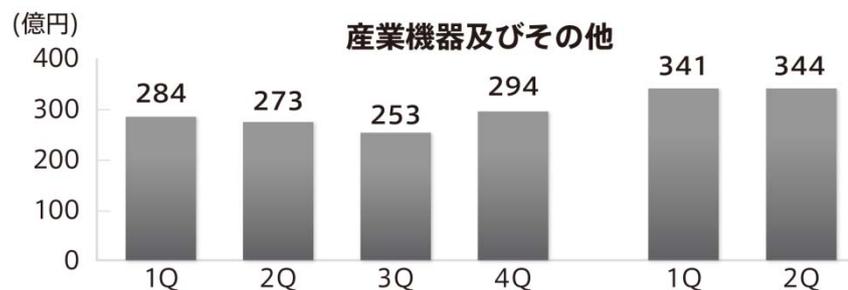
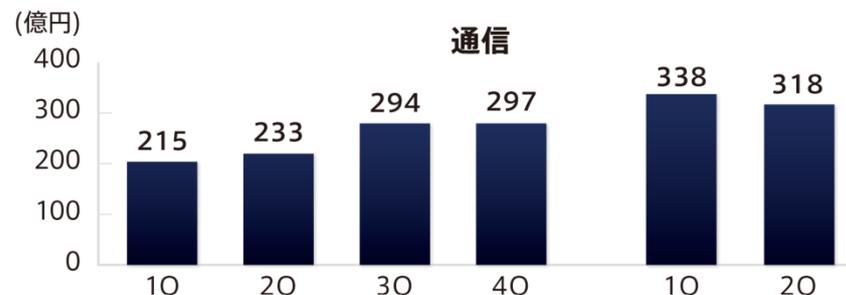
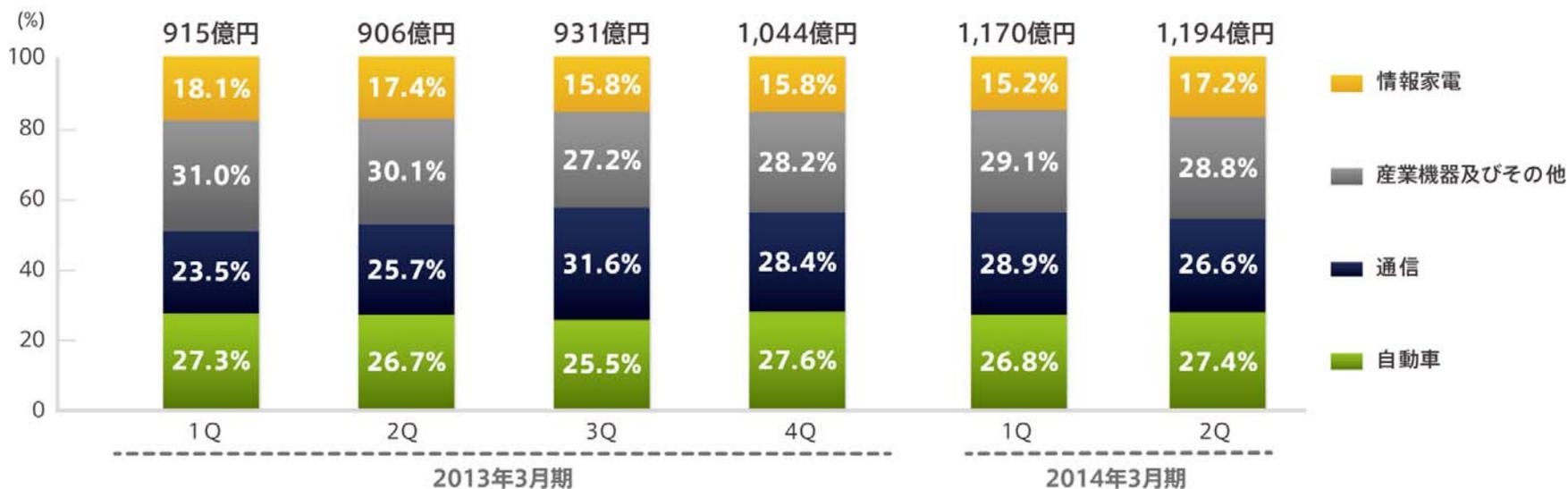
※ 2009年3月期の下期よりエプコス連結

※ 2009/3～2010/3までは非継続事業(ディスプレイ事業)を含む実績、2011/3以降は非継続事業(ディスプレイ事業)除外後の実績値

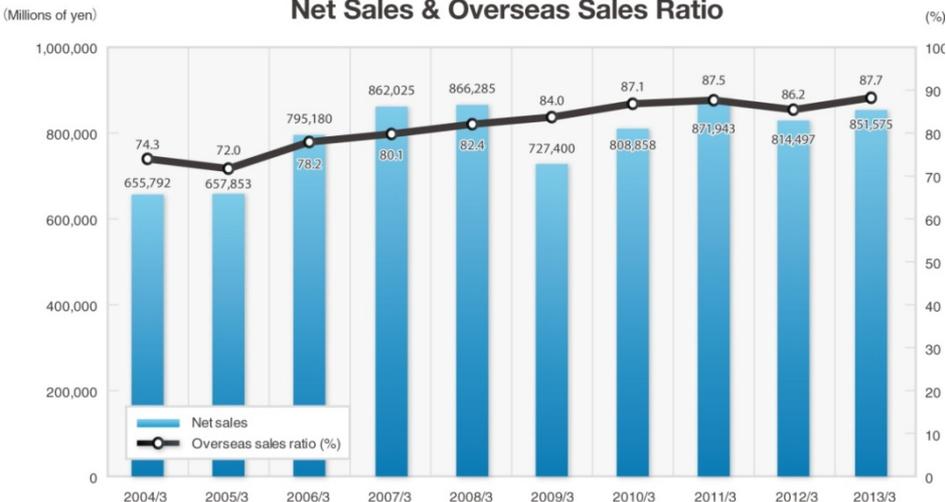
全社 分野別四半期売上高推移 (2013年3月期1Q~2014年3月期2Q)



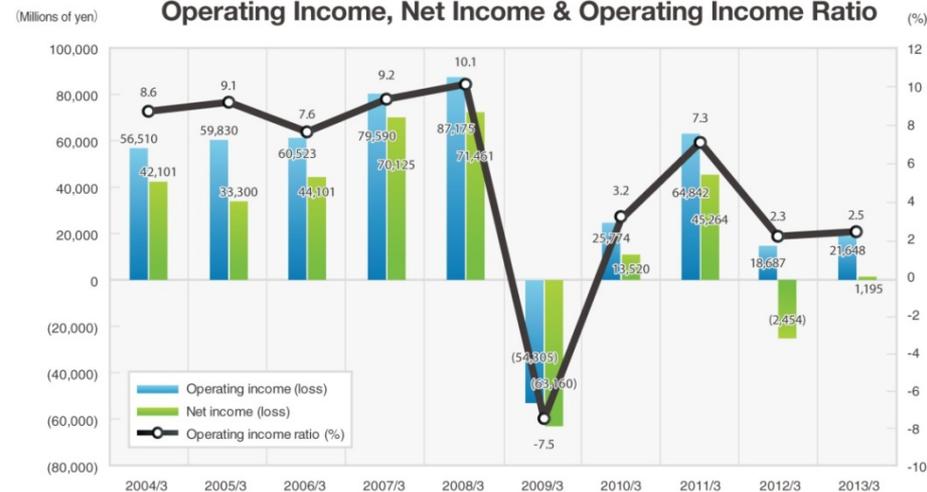
受動部品 分野別四半期売上高推移 (2013年3月期1Q~2014年3月期2Q)



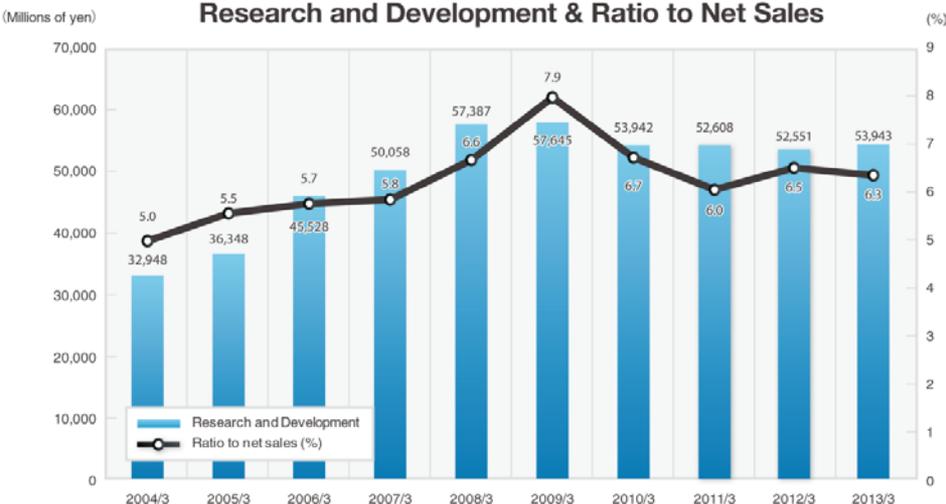
Net Sales & Overseas Sales Ratio



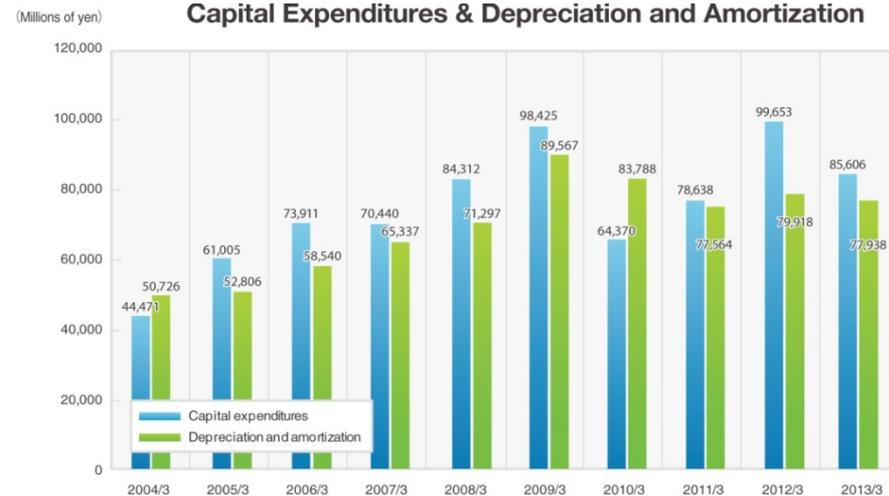
Operating Income, Net Income & Operating Income Ratio



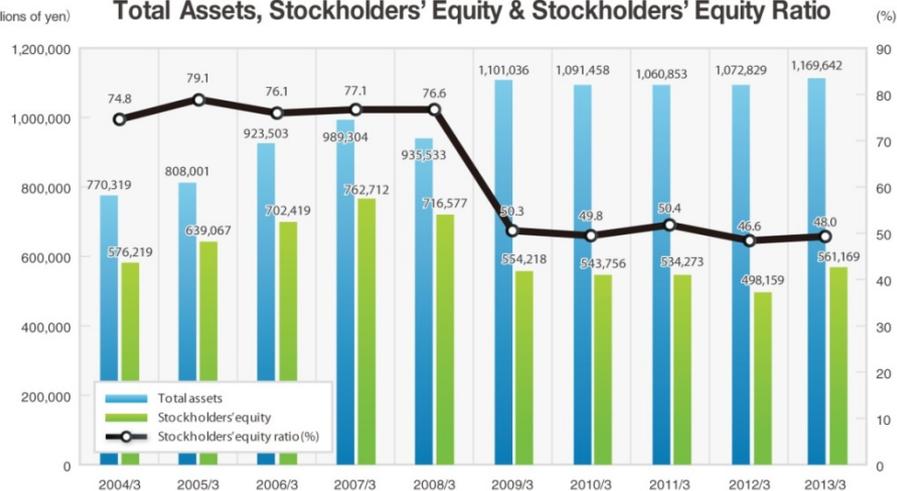
Research and Development & Ratio to Net Sales



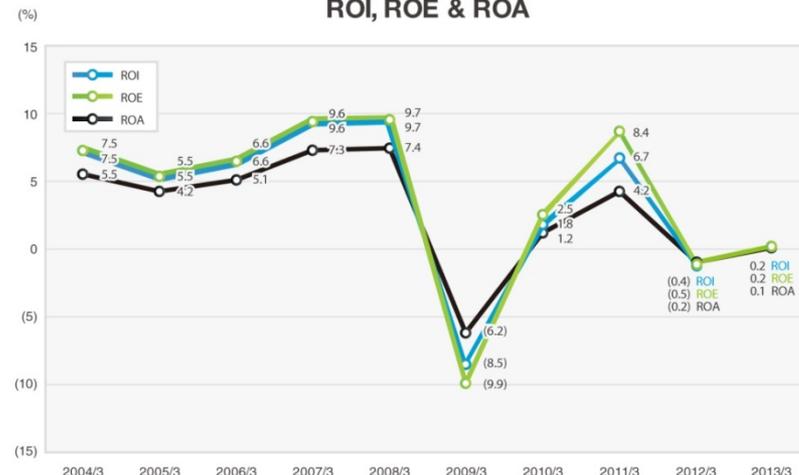
Capital Expenditures & Depreciation and Amortization



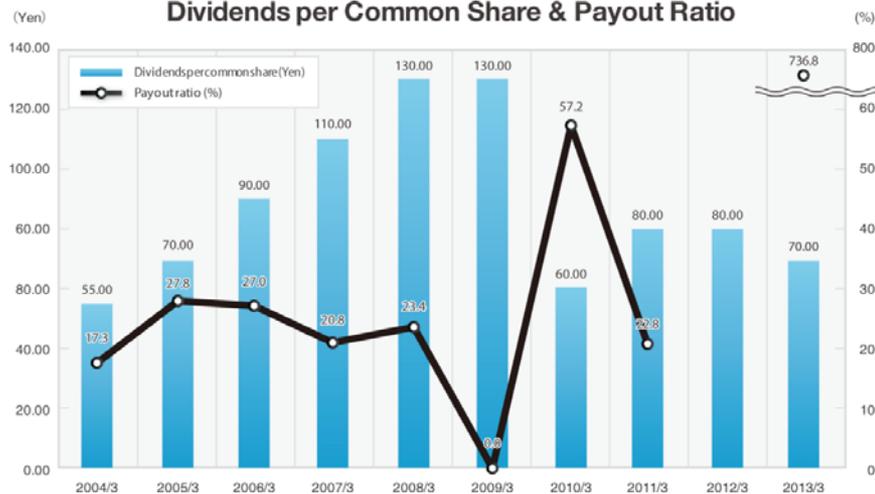
Total Assets, Stockholders' Equity & Stockholders' Equity Ratio



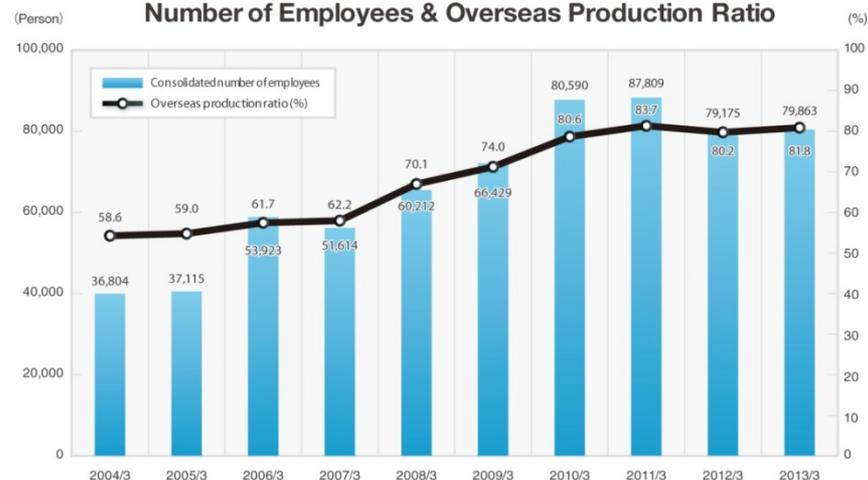
ROI, ROE & ROA



Dividends per Common Share & Payout Ratio



Number of Employees & Overseas Production Ratio



この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2014/2q_1.htm